

頭を打った

事故を
最小限に抑える
対策が大事!



? 子どもがよく頭を打つのは、なぜ?

子どもは頭が重く、体のバランスがとりにくいので、転びやすく、頭を打つことが少なくありません。頭を打つと脳震盪などの症状を伴うこともあるので、その後の対応が肝心です。事故は、家庭内はもちろん、外でも起こるので、日ごろから安全対策を心がけましょう。

頭を打った状況による衝撃度

- ① 畳、じゅうたん、フローリング、草地、砂地、柔らかい土、ゴムマット、木など
- ② 落差が1m以下の転倒や転落
- ③ 外力がかかっていない

- ① コンクリート、アスファルト、石、鉄
- ② 落差が1m以上ある転落
- ③ 跳ね飛ばされるなどの外力が加わった

弱い

衝撃度

強い

観察のポイント

- ・ どこでどんな風に打った?
- ・ 出血はしている?
- ・ 意識はある?
- ・ けいれんや手足の麻痺はある?
- ・ 顔色は悪い?
- ・ 頭痛や嘔吐などの症状はある?

小さな

子どもほど
転びやすいので
注意して!



頭を打った

今の状態を確認して
受診の目安を把握しましょう

救急車で病院へ！



- ☐ 頭をぶつけた後、ぐったりして泣かない
- ☐ 意識がない ☐ 大量に出血している
- ☐ ぼんやりして呼びかけにも無反応
- ☐ けいれんを起こしている
- ☐ 意識はあるが、左右の手足の動きがちぐはぐしている



すぐに受診！



- ☐ 受け答えできず、つじつまが合わないことをいう
- ☐ 物が見えづらい（視力障害）、二重に見える（複視）
- ☐ 手足に力が入らず、しびれている
- ☐ 歩行が不安定 ☐ 激しく頭が痛む
- ☐ 嘔吐を繰り返す ☐ 機嫌が悪く、ぐずる
- ☐ 普段よりもよく寝て、なかなか起きない
- ☐ 頭部に500円玉大のコブがある

診療時間内に受診

- ☐ 1～2回だけ嘔吐した
- ☐ 皮膚の凹みがあり、少し痛がる

🏠 ホームケアのポイント

1 傷を確認

転倒や転落などで頭部を打ったら、まず傷がないかを確認してください。出血していたら傷口をタオルなどで押さえて止血しましょう。傷がなければ患部を保冷剤や氷などで20分くらい冷やしてあげてください。

冷やして
腫れを抑える！



2 24時間は要観察

頭をぶつけた直後は症状が出ないこともあるので、長時間の外出は避け、24時間は子どもの様子に変化がないかを注意深く観察してください。繰り返し吐いたり、歩行が不安定だったり、激しくぐずったり、呼びかけてもぼんやりしているようであれば、すぐに病院へ。

眠っている間も
意識があるか
注意して！



生後7カ月未満の赤ちゃんは、頭蓋骨の形成が未熟なので、症状が現れにくい場合があります。無症状でも安心できないので、病院を受診してください。

頭を打った



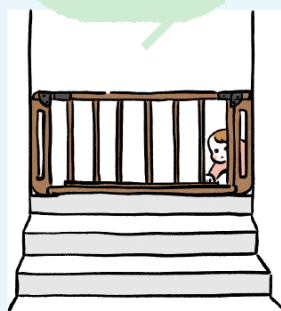
事故を防ぐための 防ぐためのポイント

子どもは成長とともに行動範囲を広げ、思わぬ行動をとります。常に転倒や転落などの危険はつきものなので、できるだけ事故を起こさないように生活環境を整えておきましょう。

室内の安全対策

ハイハイやつかまり立ち、一人歩きを始めたら、ベビーベッドの柵は高く上げ、キッチンや階段の入口にもベビーガードを設置しましょう。家具の角に保護カバーなどをつけたり、床にクッション材を敷くのもおすすめです。

危険な
場所への
出入りを防ぐ



ヘルメットの着用

自転車や三輪車、キックボードなどに乗るようになったら必ずヘルメットを着用させてください。大人が運転する自転車に乗せる場合も着用を心がけて。

念には念を
入れて!



チャイルドシートの取付

6歳未満の子どもにはチャイルドシートの使用が義務づけられています。チャイルドシートやジュニアシートは車の後部座席に装着してください。6歳を超えても身長が140cm未満の場合は、そのまま継続して使用したほうが安全です。

チャイルド
シートで
運転中も安心

